

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 19 年 3 週(1 月 3 週 1/15~1/21)

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

- ・ 注意する感染症
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症発生状況
- ・ 感染症だより(12月後半/1月前半)
- ・ WHO 疫学週報抄訳
2007年1月12日(82巻1・2号)
予防接種作戦助言専門家集団会議報告
WHO 国際検疫病情報
- ・ 五類定点把握感染症報告数
(保健所別、年齢別)

注意する感染症

「集団かぜ」の発生(第10報、第11報、第12報)とインフルエンザについて

「集団かぜ」は1月24日現在で延べ42施設から報告されています(概要は以下の発表内容をご覧ください)。これまでの患者からインフルエンザウイルスA香港型およびB型が分離されています。感染症発生動向調査におけるインフルエンザについては3週の定点あたり患者報告数は2.76人(前週比3.0倍179人 539人)と増加しました。定点医療機関からのコメントも3週に入り急増しています。

- 【発表内容】
- ・ 第10報; <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070122.pdf>
 - ・ 第11報; <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070123.pdf>
 - ・ 第12報; <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070124.pdf>

伝染性紅斑

3週の定点あたり患者報告数は1.31人(前週比1.4倍、172人 238人)と、過去8年間で最も患者報告数が多い状態が続いています。全国的にも2006年47週以降増加が続いており、過去5年間で最高の患者報告数となっています(国立感染症研究所・感染症週報第52週報)。

1月25日に注意情報を発表しました、詳しくは以下の発表内容をご覧ください。

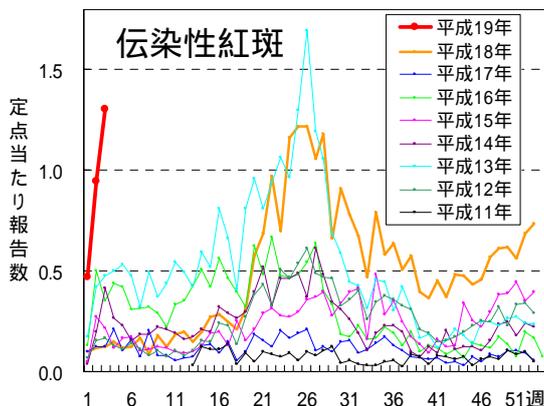
本疾患は定点あたり患者報告数が2.0人以上で警報が出され、1.0人未満になるまで継続します。

【発表内容】

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070125ringo.pdf>

【参考ページ】

「伝染性紅斑(リンゴ病)について」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ringo.html>



RSウイルス感染症

3週の定点あたり患者報告数は1.19人(前週比0.9倍、235人 217人)と、依然として患者報告数が多い状態が続いています。

【参考ページ】「RSウイルス感染症」

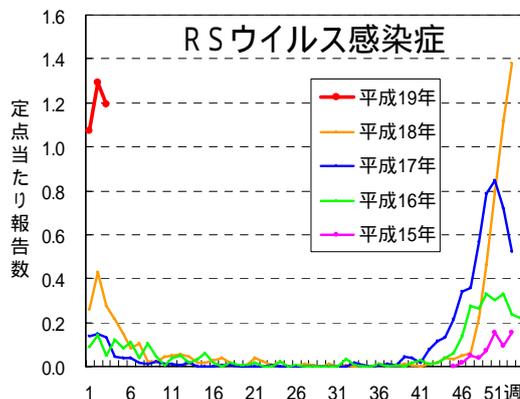
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

その他のグラフは「グラフ総覧」をご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

愛知県感染症情報センター

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>



定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ3名、8～10歳いずれもB型、2名はワクチン接種あり。

水痘小流行

RSらしい気管支炎多いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

マイコプラズマ感染症 1歳女

アデノウイルス感染様の患者 2名

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌（O6 4歳男、O25 3歳女、O27 3歳女）

マイコプラズマ感染症 6名

インフルエンザは全てB型 6名

【一宮市 城後小児科】

インフルエンザ3名（A型2名、B型1名）

【一宮市 一宮市立市民病院】

A型 2名（エスプラインテスト）

【一宮市 医療法人かすがい内科】

インフルエンザはまだ少ないようです。

A型4例、B型2例。

【江南市 河野小児科】

インフルエンザの流行は止まっていますが、RSと思われる発熱、咳を主症状とするものが多く見られます。

A型インフルエンザ 3歳男、34歳女（母子）

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症目立ちます。

インフルエンザはA型1例、B型1例。

伝染性紅斑散発。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

水痘、感染性胃腸炎がやや目立ちます。

インフルエンザA型1名（5歳女）ありましたが流行には至っておりません。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザB（2名）が散発しました。

【扶桑町 いずみ内科】

2歳女 ロタウイルス（+）

インフルエンザB型 5名

インフルエンザA型 2名

【春日町 丹羽医院】

週後半より、A型インフルエンザ2名、B型インフルエンザ3名。

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザB型1名

【愛西市 まえだこどもクリニック】

インフルエンザはA型1例、B型5例です

【愛西市 医療法人谷本医院】

インフルエンザはB型です。

【七宝町 医療法人村上医院】

インフルエンザA型1名

インフルエンザB型1名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザB型2例のみ。

RSウイルス感染症、水痘、溶連菌感染症がみられます。

13歳男 カンピロバクター腸炎

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ2名（いずれもB型）

その他、水痘、溶連菌感染症等散発。

年明けから静かな外来です。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

1/19 B型インフルエンザ16歳男 1名

1/19 B型インフルエンザ16歳女 1名

1/19 42歳男 感染性腸炎

【豊明市 豊明団地診療所】

RSウイルス感染症続いています。

インフルエンザA型がありました。

【春日井市 春日井市民病院】

1歳と4歳のA型インフルエンザ、9歳のB型インフルエンザ

リンゴ病増加

水痘と溶連菌感染症、少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

当院のインフルエンザ第一症例は、B型で、名古屋に通学する高校生でした。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザはB型

ロタ腸炎あり

水痘脳炎1例

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザはB型のみです。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型 2歳男1名

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザB 17歳女

インフルエンザA 28歳男

【半田市 医療法人林医院】

B型インフルエンザ2名

【南知多町 医療法人大岩医院】

マイコプラズマ肺炎 3歳女、14歳女、1歳男、15歳女、6歳女、4歳女、2歳女、10か月女

【美浜町 厚生連知多厚生病院】

インフルエンザB 7歳男 14歳男 10歳女

インフルエンザA 9歳男 14歳女

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

西三河地区

2歳男 E.coli(O18)
 キャピリアアデノ(+) 2名
 RSVエグザマン(+) 2名
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 インフルエンザA型 1人、B型 1人
 【豊田市 すくすくこどもクリニック】
 病原性大腸菌O166(+), O1(+), 2歳女
 インフルエンザはA1人、B2人
 RSウイルスが目立ちます。
 【岡崎市 花田こどもクリニック】
 4歳女、11歳女、1歳女、2歳女 マイコプラズマ肺炎
 溶連菌感染症 目立ちます。
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
 5歳男 カンピロバクター
 5歳女、7歳男、7歳女 マイコプラズマ肺炎
 【岡崎市 にいのみ小児科】
 3歳女 病原大腸菌O1
 B型インフルエンザ2名(内1名ワクチン済)
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
 11歳女 インフルエンザB(+)
 5歳女 インフルエンザA(+)
 【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
 インフルエンザ4名 全てA型でした。
 【岡崎市 粟屋医院】

水痘、溶連菌感染症、伝染性紅斑 目立ちます。
 【碧南市 永井小児クリニック】
 水痘、アデノウイルスが多いです。
 インフルエンザありません。
 【刈谷市 まついこどもクリニック】
 Myco[IgM(+)] 7歳女、10歳女、5歳男
 【刈谷市 田和小児科医院】
 インフルエンザ A型6、B型17
 【安城市 厚生連安城更生病院】
 インフルエンザB型
 【安城市 鳥居医院】
 インフルエンザB型1
 RSウイルス 4
 ロタウイルス 4
 【知立市 宮谷クリニック】
 インフルエンザB型がみられました。
 【三好町 三好町民病院】
 インフルエンザB 8歳男
 【西尾市 やすい小児科】
 9歳男 B型インフルエンザ
 13歳女 B型インフルエンザ
 8歳男 B型インフルエンザ
 【西尾市 山岸クリニック】
 4歳女カンピロバクター、病原性大腸菌(O25・VT-))
 【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

RSウイルス感染症流行中、39歳母も感染のようです(1月15日、1日で14名陽性)
 インフルエンザA型 2名
 インフルエンザB型 5名
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 学童を中心にB型インフルエンザ流行中
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
 2歳男 マイコプラズマ肺炎
 【豊橋市 医療法人野村小児科】

A型インフルエンザ 1名
 RS乳児まだ多いです。
 【豊川市 豊川市民病院】
 赤羽根地区中心にインフルエンザBが出ています。
 今週も溶連菌感染症が目立ちました。
 【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun060612.pdf>)

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	O血清型、ベロ毒素型
1	衣浦東部	62	男	1/5	1/7	1/11	O157、VT2(+) <2週報掲載分・再掲>

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

つつが虫病 1例 <4週報告分>
 アメーバ赤痢 2例
 推定感染地域;シンガポール タイ、推定感染経路;経口感染
 推定感染地域;国内、推定感染経路;性的接触 <4週報告分>

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

日溜まりにタンポポの黄色い花を見つけました。庭の隅にフキノトウが顔を出して暖冬を教えています。冬休みも終って腕まくりして、仕事です。いつも貴重な情報を有難うございます。本年も宜しくお願いします。12月後半～1月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内: 名鉄病院福田先生からは咽頭結膜熱、溶連菌感染症が目立ちRSウイルスと思われる気管支炎がかなり多く、マイコプラズマ感染症は以前から多くインフルエンザは殆どなく、喘息性気管支炎、マイコを含む肺炎が入院の主体で咽頭結膜熱の重症例の入院あり、ロタウイルス腸炎が増加傾向、城北病院渡辺先生からは乳幼児の細気管支炎でRSウイルス抗原はほぼ全例陽性になる状況でマイコプラズマやや減少、急性胃腸炎がまだ少し続き、ムンプスと伝染性紅斑、インフルエンザBやアデノが散見、第二日赤岩佐先生からはRSV感染症の入院が多く、インフルエンザ、腸炎は殆どいない、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎ぼつぼつ、インフルエンザはない、三菱病院入山先生からはA群溶連菌咽頭炎7名と多く(4名入院)、感染性胃腸炎(サルモネラO-9、病原性大腸菌O1)3名、咽頭アデノウイルス3名(入院)、水痘3名、伝染性紅斑1名、RSウイルス感染症1名、B型インフルエンザ1名、マイコ、RSを含む気管支炎・肺炎の入院9名、中京病院柴田先生からは水痘が少し、溶連菌も少し、RSウイルス感染による入院多数、労災病院山田先生からはRSらしき感染症が多く(入院急増)、インフルエンザB少数(14歳男児で心筋炎合併入院例あり)、水痘ちらほら、溶連菌感染症は多くないがコンスタントにあり、アデノウイルス扁桃炎(要入院例あり)がまだあり2歳と1歳の兄妹(叔母から感染)の麻疹入院例あり、大同病院水野先生からはRSウイルスによる気管支炎・肺炎が多く年末にかけて入院急増、高熱が続き肺炎となるのは3-4歳までの児に多く、ウイルス性腸炎は減少、ムンプス、水痘、手足口病がみられる、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区: 犬山市武内先生からは感染性胃腸炎は減少、A群溶連菌咽頭炎と水痘が共に散発、B型インフルエンザも減少、常滑市民病院高橋先生からはA群溶連菌、RSと思われる感冒症状発熱児が多く、水痘、ムンプスもあり、手足口病数人あり、入院ではRSウイルス感染例が多くマイコプラズマ肺炎もあり、生後20日のブ菌性火傷様症候群1例入院あり、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区: トヨタ病院木戸先生からはRSウイルスを含む喘息性気管支炎が多く入院が目立ち、インフルエンザちらほら、頸部リンパ節炎が意外に多い、加茂病院梶田先生からはインフルエンザはまだない、RSウイルス感染症増加、入院が目立ち、胃腸炎はやや減少、水痘が流行中でマイコプラズマ肺炎の入院がまだ多く、アデノウイルス感染症の入院もパラパラあり、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎6~7例/週、うちペロ毒素陽性病原性大腸菌O1が1例、溶連菌感染症パラパラ2~3例/週、マイコプラズマ感染症(IgM陽性)4例、安城更生病院宮島先生からはRSウイルス細気管支炎で入院し酸素療法を行なっている児が増加、岡崎市民病院後藤先生からはインフルエンザはまだ殆どなく気道感染症が多く、RSウイルス感染症の入院が

多い、碧南市永井先生からはRSウイルス感染症流行、溶連菌感染症、伝染性紅斑もいる、豊橋市宮澤先生からは乳幼児細気管支炎が目立つとのことのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

2007 年 1 月 5 日 (82 巻 1・2 号) <http://www.who.int/wer/2007/en/>

予防接種作戦助言専門家集団(Immunization Strategic Advisory Group of Experts, SAGE) 会議。06 年 11 月 20-22 日。ジュネーブ。会議の結論と WHO 事務長あて勧告。1) 予防接種、ワクチン、生物製剤部門(Immunization, Vaccine and Biologicals, IVB)からの報告: 06 年の 50 カ国からの報告では各国の予算規模拡大は良好。接種率上昇はアフリカ地域、東地中海地域で良好。東南アジア地域の大国で DTP3 が横這いの国がある。2) GAVI (Global Alliance for Vaccines and Immunization、ワクチン・予防接種世界同盟) 事務長が第 1 相資金供与成果を報告。06 年末までに推定 230 万の死が GAVI のサポートで予防出来た。第 2 相として新ワクチン導入とワクチン供給サービス強化を継続。財源は各国の状況に応じて拠出、投資対象の新ワクチンとしてロタウイルスワクチンと肺炎球菌結合型ワクチン。3) WHO 地域別の履行優先順位と重点問題: 南北アメリカ、欧州、西太平洋地域事務所から報告。南北アメリカ: 全地域で定期予防接種率 95%。2010 年までに麻疹、先天性風疹根絶予定。ロタウイルス、肺炎球菌、パピローマウイルス (HPV) などの新しいワクチン開発。科学的根拠に基づくワクチン導入。経済的裏付け。問題は地域間格差で定期接種率 < 80% の地域に南北アメリカの 1/3 の小児が居住。2012 年までに地域格差解消に 4 千万ドルが必要と試算。子宮頸癌多発カリブ海沿岸諸国の HPV ワクチン導入。欧州: 2008-13 年、さらに健康活動は増進が予測される。国単位では地域の全ての国が DTP3 接種率 > 95% であるが地域格差が大きい。麻疹風疹根絶とワクチン安全ネットワーク確立。欧州予防接種推進週間実施。サーベイランスと監視強化。西太平洋地域: 05 年 9 月、地域事務局が 2012 年までの二大目標を承認。a) 麻疹根絶、b) B 型肝炎ウイルス保有率 < 2% とする。その前段階として 5 歳児の HBs 抗原陽性率を < 2% とする。他に、ポリオ根絶のため常在地域へのワクチン供給、HiB ワクチン普及 (37 カ国中 9 カ国で実施、同地域居住小児の 4% 未満) と新ワクチン導入、予防接種拡大計画 (EPI) の維持が重要。4) ワクチン安全性に関する世界助言委員会 (Global Advisory Committee on Vaccine Safety, GACVS) の報告: 06 年 6 月 6-7 日に委員会開催。本巻 273-278 頁で既報、詳細略。チメロサル添加、多種ワクチンの同時接種、ムンプスのワクチン株、肺炎球菌結合型ワクチン、新型インフルエンザワクチンが話題となりさらに HPV ワクチン、思春期・免疫不全成人のワクチン接種に注目。SAGE はこの委員会の中立性を重視。生物製剤標準化委員会が 10 月 23-27 日に開催。HPV ワクチン、肺炎球菌結合型ワクチン、ワクチンの安定性評価に関する標準化確立。WHO 標準管理国際研究所 (英国) の支援が注目される。5) 新型 (パンデミック) インフルエンザワクチン: SAGE は WHO 事務局から新しい H5N1 ウイルス流行とワクチン開発、ワクチン作戦状況を情報提供されている。新型ウイルスワクチンは (流行株にもよるが) 世界主要 9 カ国で生産、10 億接種量が供給可能。新型ワクチン作成のための遺伝子型情報の公開が重要 (ウェブページ参照) SAGE は他の新しい新型ウイルス (H7 型など) にも注目を勧告。健康成人を対象とする接種試験が重要で、SAGE は小児、免疫不全者にも重点をおいている。情報公開や流行株分与が国際的に平等であること。6) 予防接種財政

と市場参加：財政支援を従来の二国間・多国間協力から新しい協力体制を策定し、従来のワクチン市場価格を再検討すること（長文。詳細略）。7）肺炎球菌結合型ワクチン：小児期の重症感染に加え、高齢者増加と HIV/AIDS 増加で注目。途上国における普及、他の定期接種に組込む、5歳以下小児死亡が>50/千出生の国では予防接種計画に組込む、生後6ヵ月以前から開始、接種方式は6回方式と3回方式あり。8）ポリオ根絶：ポリオ根絶助言委員会はポリオ発生の際の緊急対策としてポリオ1型単味ワクチンの抗体獲得倍増改良ワクチンの開発と臨床試験、現在流行中の4ヵ国の根絶の可能性を再確認、輸入例対策として流行国からの入国者に対し年齢と無関係にワクチン接種を要求、SAGEの勧告：a)流行国とワクチン提供国の政治的指導者の認識の重要性（流行国の指導者は現場を直接訪問すること）、b)不活化ワクチンの改良、c)生ワクチン中止後の不活化ワクチン導入の方式の検討。9）地球規模の予防接種モニターとサーベイランス：2010年までに疫学、検査室、プログラム監視、ワクチンで予防可能な疾患のサーベイランスなどが統合されたネットワークが構築されること。SAGEは従来5年ごとに実施していた各種指標の集積によるサーベイを今後3年ごとに実施する予定。10）髄膜炎菌ワクチン：供給不足の危険あり。現在も足りていないが今後a)定期接種の普及、b)流行拡大と緊急接種の増加、c)新型多糖類結合ワクチン登場、d)製造メーカー減少でさらに供給不足が予測される（細かい数字は略）。SAGEは現行多価ワクチンの小量頻回接種の有効性再評価、導入を試みている。11）麻疹根絶：SAGEは初回接種年齢に関するワーキンググループの報告を再検討。麻疹流行、麻疹死亡のある国での初回接種を生後9ヵ月にする現行方式を承認。麻疹流行状況、接種率、抗体獲得状況、有効性などで9ヵ月にするか12ヵ月にするか方針を決定すること。追加接種年齢に関しては更に再検討が必要。12）予防接種スケジュール適正化：従来のワクチンに関して1997-2005年、55ヵ国で実施された調査ではDTP1で平均1ヵ月、DTP3で2.2ヵ月、麻疹で1.3ヵ月の接種の遅れがみられた。SAGEはこの結果を重視、さらに調査継続、未報告の国に調査拡大を勧告。さらに結合型新ワクチンの導入、結合型ワクチンと他のワクチンの相互作用についても今後検討を予定。13）HIV、結核、マラリアワクチン； HIVワクチン：ウイルス糖蛋白gp120を用いたワクチンの第3相試験がタイで進行中。09年に結果が出る予定。良好なら2011年に認可が予想される。結核ワクチン：いくつかの有望な候補ワクチンが開発され、09年に第3相試験開始予定。マラリアワクチン：グラクソスミスクライン社がRTSマラリアワクチンを候補ワクチンとして開発中で5-6年後には認可をめざしている。マラリア用蚊帳など従来の方法との組合せ、接種試験の場所と季節などが検討課題となっており、マラリアワクチンによる恩恵の大きい途上国を中心にSAGEは研究開発担当者、国と地方の行政、地域住民を統合、各相における接種試験を支援する予定。

ウェブページ

http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/guidelines/h5n1sequences2006_08_23/en/index.html

WHO 国際感染症届出公示。07年1月5-11日届出。コレラ：アンゴラ、セネガル、ギニア、ニジェール、タンザニア、米合衆国（輸入例）。

愛知県感染症情報

2007年第3週(平成19年1月15日～平成19年1月21日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	217	539	36	344	851	329	22	238	131	1	1	2	0	82	0	11	0	0	6	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	171	334	29	252	522	254	19	175	106	1	0	1	0	68	0	7	0	0	6	0	0
名古屋市	70	70	11	14	1	46	205	7	92	329	75	3	63	25		1	1		14		4					
尾張東部 瀬戸	9	9	2	3	1	18	32	4	18	20	21	2	3	2										2		
海部津島 津島	7	7	2	2	1		14	1	16	66	10	5	13	9					1		2			3		
尾張中部 師勝	4	4	1	1			16		13	15	9		2	1							2					
尾張西部 一宮	16	12	3	4	1	7	24		14	22	28		12	8					1		2					
尾張北部 春日井	9	9	2	3	1	18	33	2	22	29	25	1	25	12			1		2							
	江南	6	6	1	2	9	14	2	24	39	24		8	10					1							
知多半島 半田	6	6	1	2	1	11	14	4	16	35	10	5	12	6	1				13							
	知多	7	7	2	2	12	23	1	13	23	10		22	2					8							
西三河南部 岡崎市	11	7	2	2	1	8	13		35	19	27	2	18	21					9							
	衣浦東部	13	13	2	4	1	23	8	21	44	30	2	16	7					5							
	西尾	5	5	1	2	1	2		14	21	10		6						6							
西三河北部 豊田市	9	9	2	4	1	11	34	2	10	58	12	1	12	9					3							
東三河南部 豊橋市	12	8	2	4	1	37	39	2	14	72	10	1	16	9					7					1		
	豊川	9	8	1	2	1	13	3	22	53	28		10	10					11		1					
東三河北部 新城	2	2			1	2	3			6									1							

